

健康保険組合を対象に実施した 「胃がんリスク検診(ABC検診)」に関するアンケート 集計報告

< 調査概要 >

調査対象	全国健康保険組合：1,423件
調査時期	2013年11月～12月
調査方法	郵送によるアンケート調査（回収はFAXのみ）
調査主体	認定NPO 日本胃がん予知・診断・治療研究機構
回収数	180件（廃業や転居先不明など不着先：22件を考慮すると回収率は12.8%）

2011年にも同様の調査(下記)を実施していることから、類似している設問については当時の集計結果を併記し、その推移も掲載する。

調査名 健康保険組合を対象とした胃がんの健診に関するアンケート調査

調査対象 全国健康保険組合：1,448件

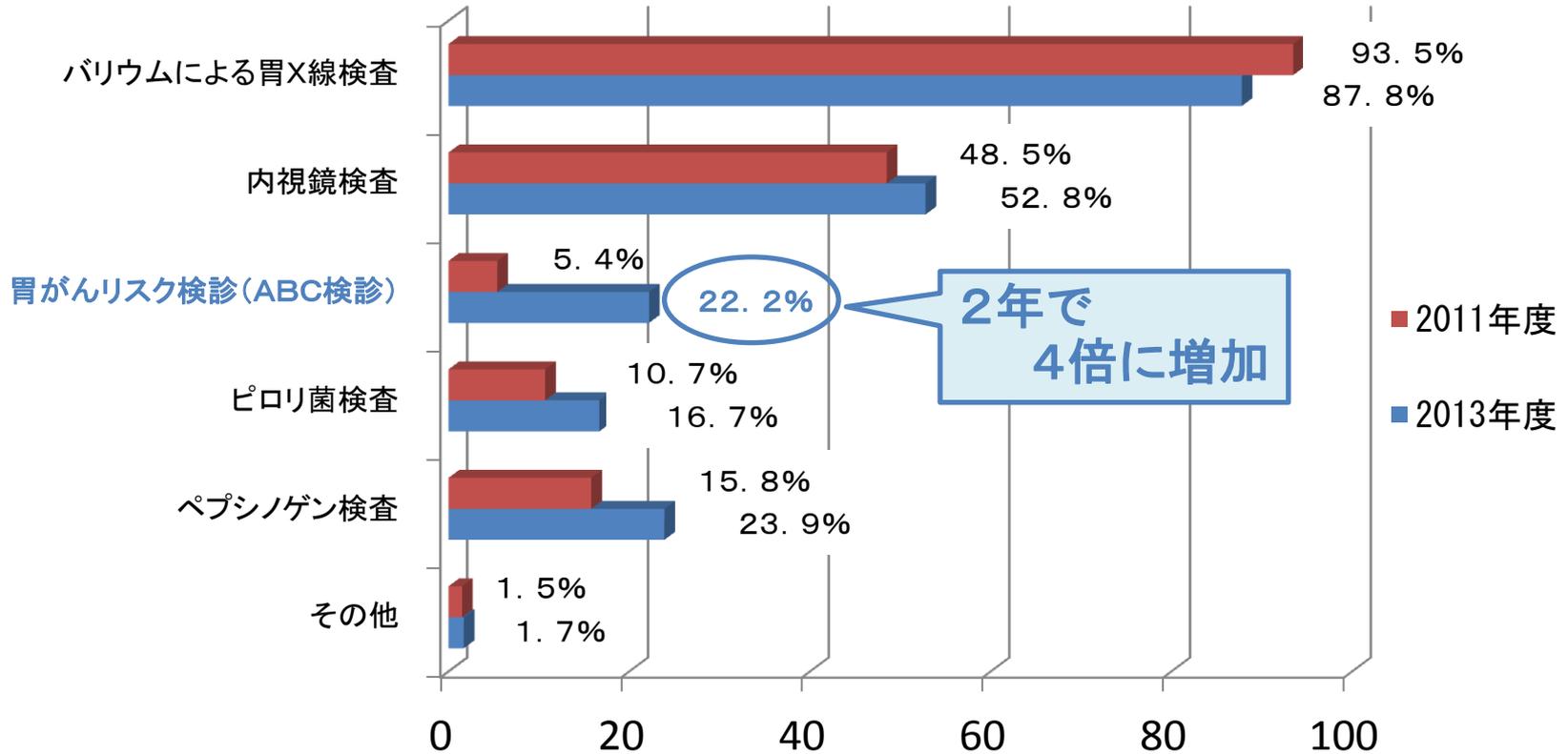
調査方法 郵送によるアンケート調査(返信用封筒を同封)

調査主体 NPO 日本胃がん予知・診断・治療研究機構

調査時期 2011年8～9月

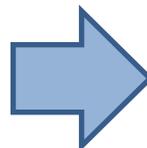
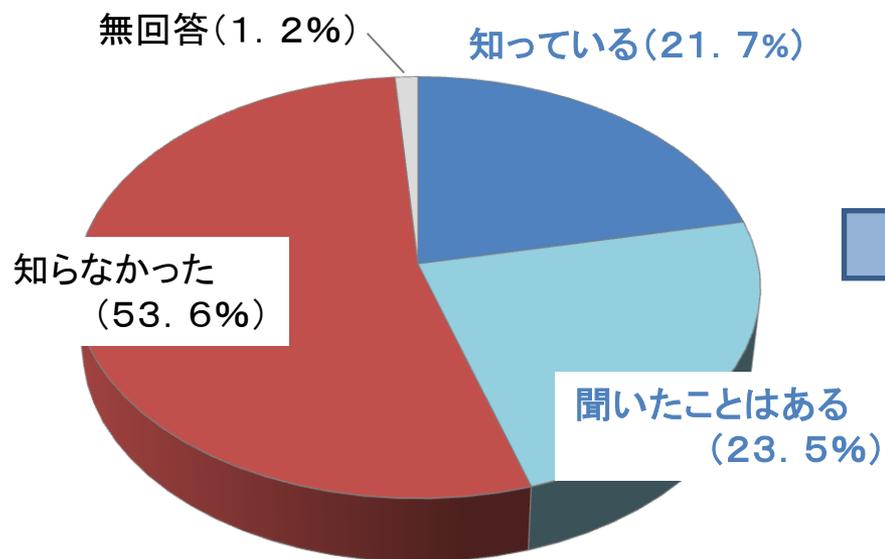
回収数 397件(回収率:27.4%)

Q 1 貴健保組合では、どの検査方法で胃がん検診を行っていますか。
あてはまるものすべてをお選びください。

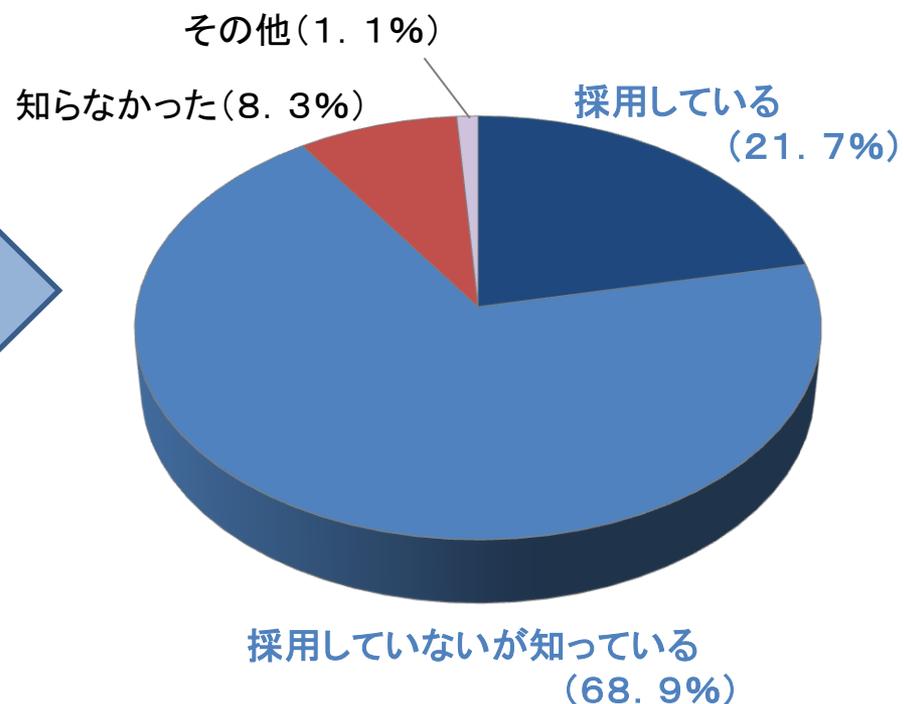


Q2 「胃がんリスク検診（ABC検診）」をご存知でしたか。

2011年度

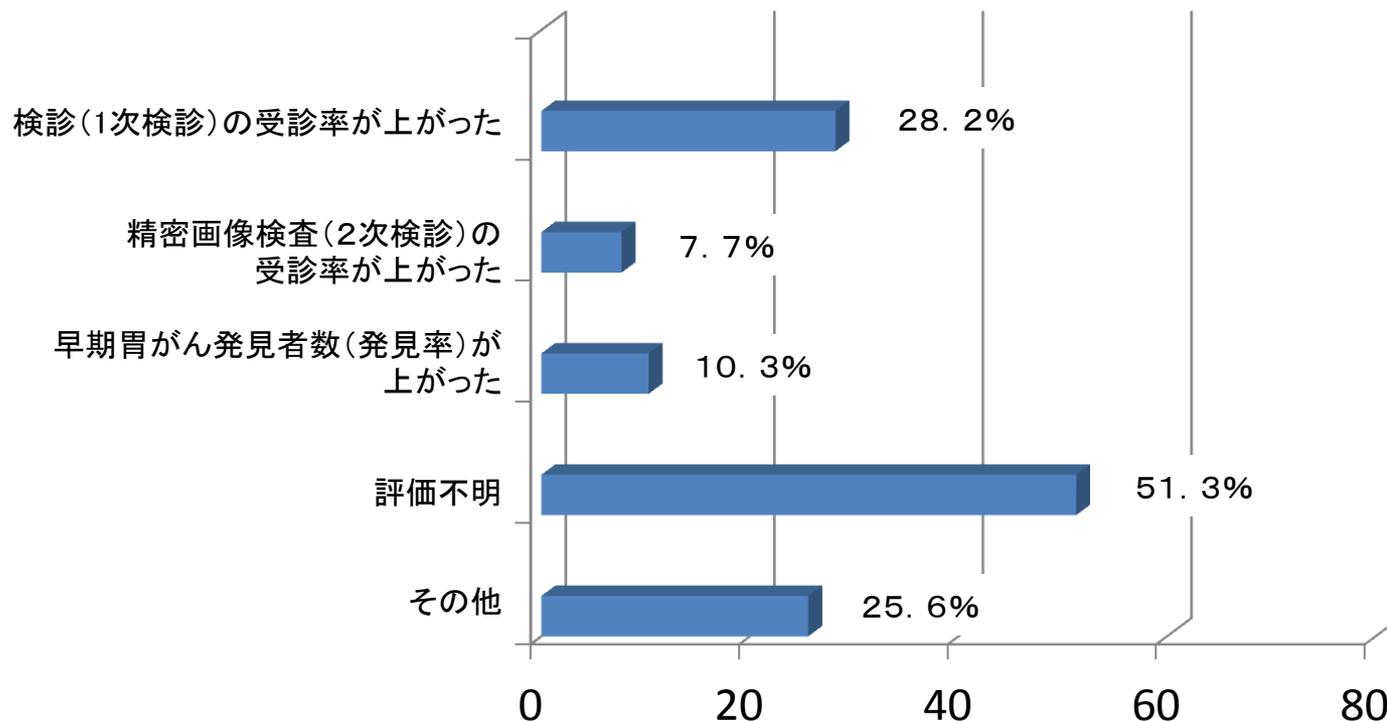


2013年度



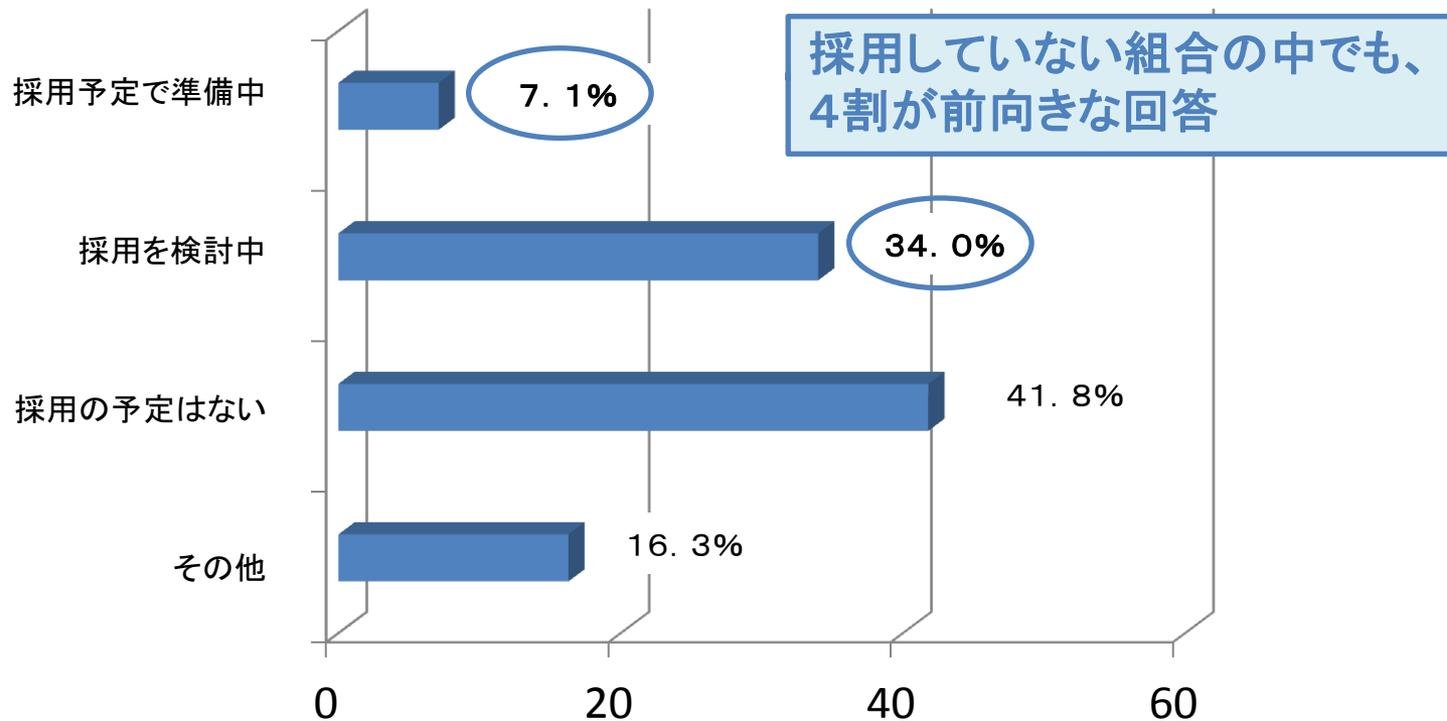
認知度は、45.2%(2011年度)から
90.6%(2013年度)へと、ほぼ倍増

Q3 「採用している」方へお聞きします。「胃がんリスク検診（ABC検診）」を採用して、どのような変化がありましたか。あてはなるものすべてをお選びください。



まだ採用して間がないため評価できない、との回答が多かった。

Q 4 「採用していない」方へお聞きします。下記の中で当てはまるものをお選びください。
(あてはなるものいくつでも)



胃がんリスク検診(ABC検診)に関するアンケート調査 集計表 (2014.1.7現在)

配布数	回収数	回収率
1401	180	12.8%

※出状数: 1,423件 - 22件 = 1,401件

Q1 貴健保組合では、下記のどの検査方法で胃がん検診を行っていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

項目	回答数	回答率
1. バリウムによる胃X線検査	158	87.8%
2. 内視鏡検査	95	52.8%
3. 胃がんリスク検診(ABC検診)	40	22.2%
4. ピロリ菌検査	30	16.7%
5. ペプシノゲン検査	43	23.9%
6. その他	3	1.7%
小計	180	-

前回
93.5%
48.5%
5.4%
10.7%
15.8%
1.5%
-

… 前回とは、2011年10月に実施した調査結果

Q2 「胃がんリスク検診(ABC検診)」をご存知でしたか。

項目	回答数	回答率
1. 採用している	39	21.7%
2. 採用していないが知っている	124	68.9%
3. 知らなかった	15	8.3%
4. その他	2	1.1%
5. 無回答	0	0.0%
小計	180	100.0%

前回
45.2%
53.6%
-
1.2%
-

→ 知っている(21.7%) + 聞いたことはある(23.5%)

Q3 「採用している」方へお聞きします。「胃がんリスク検診(ABC検診)」を採用して下記のような変化がありましたか。

あてはまるものに○をつけてください。(いくつでも)

項目	回答数	回答率
1. 検診(1次検診)の受診率が上がった	11	28.2%
2. 精密画像検査(2次検診)の受診率が上がった	3	7.7%
3. 早期胃がん発見者数(発見率)が増加した	4	10.3%
4. 評価不明	20	51.3%
5. その他	10	25.6%
小計	39	-

Q4 「採用していない」方へお聞きします。下記の中であてはまるものに○をつけてください。(いくつでも)

項目	回答数	回答率
1. 採用予定で準備中	10	7.1%
2. 採用を検討中	48	34.0%
3. 採用の予定はない	59	41.8%
4. その他	23	16.3%
小計	141	-

前回
15.7%
83.1%
-

→ すでに導入している(5.6%) + 採用したい(10.1%)

→ なんとも言えない(67.9%) + 思わない(15.2%)